

まんべんなく地域住民の顔を見渡すために 多世代交流をしましょう

地域には様々な人々が各世代にわたり生活を営んでいます。その人達がコミュニケーションを図ることによって地域は生き生きとします。それぞれの顔が見えるご近所付き合いは地域の力の源です。

お互いを尊重し地域における各世代の役割を認識しながら、世代を超えたつながりを構築するための活動をしましょう。



様々な人々が各世代に亘って暮らす地縁社会においては、それぞれの顔が見える人付き合いこそが地域の活性化には欠かせないとの認識から、住民同士が関心を持ちあえる場が必要であると考えます。地域住民が一堂に参加する事業を実施することで、住民が連帯感を深め、安心・安全を守る近隣社会の生活に直結する諸問題の解決には自分たちが当事者であるという認識付けが必要だと考えます。

提言の背景となった事業

- ・ みんなで集おう！地域コミュニティ
～地域に広げようコミュニティのWA～

多世代交流を目的としたイベントで、実に90名以上の地域の方々にご参加いただきました。小学校とその周辺を活動範囲として、参加者は世代も居住の地区もバラバラに班編制し、活動に参加してもらいました。

住みよい地域を作るには地域の連帯感や信頼感が大切です。そのためには日頃の挨拶から生まれるちょっとしたお付き合いからでも、ネットワークを広げることが必要だと感じます。